

住宅改修・事例紹介 27

はんどで施工した事例をご紹介します。
ぜひ、参考資料としてお役立て下さい。



トイレまでの移動を安全に

このようなことでお困りでした

歩行が不安定なため、何らかの支えが必要な状態です。寝室から、トイレに向かう廊下に手すりがほしいけれど、両側がガラス戸で壁がありません。ご家族から「安全にトイレに行けるようにしてほしい」とご相談いただきました。



T様（男性）80代
要介護1

約1年前から認知症の症状がみられるようになりました。屋内の移動は伝い歩きか、膝に手を当てて前かがみの姿勢で歩行しています。

Before & After

① 立ち上げ手すり設置



廊下の両側はガラス戸で、手すりを取り付けるための壁がありません。そこで、ドアの片面（出入りしない側）に床から立ち上げる形で手すりを取り付けました。

② 縦手すりの取り付け



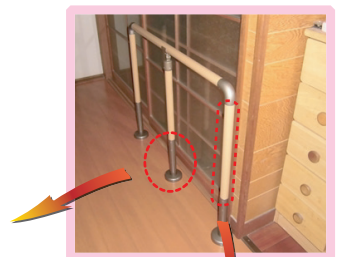
寝室の出入り口に縦手すりを設置し、部屋への出入りを安全に行えるようにしました。

施工のポイント

手すりは、壁にブラケット（金物）で固定する方法と、床から支柱を立ち上げて固定する方法の2種類があります。設置場所の状況に応じて使いわけ、今回のようにガラス戸によって壁に取り付けられない場合は、床から立ち上げて固定することができます。

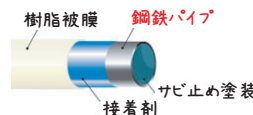
POINT 長めの支柱で強度を保つ!

「立ち上げ型の手すりはグラグラしそう…」という声を聞きますが、この度使用した支柱は通常より長め！これにより、安定感・強度共に十分です。



POINT イレクター=素材で形も自由自在!

イレクターとは鋼鉄パイプに樹脂をコーティングしたものです。軽くて丈夫、錆びに強く衛生的！見た目や手触りは木製手すりにそっくりです。フリーサイズのもので作れたり、金物と組み合わせることで様々な形状の手すりを作ることが可能になります！



こんな手すりも作れます!!

【改修費用の目安】

- ①約 36,000円
- ②約 8,000円

現場の状況や部材等によって変動します。

施工後の感想

手すりが付いたおかげで、ガラス戸の前も安心して通れるようになりました。壁が無いので手すりは無理だと思っていましたが、取り付けができてよかったです！

